

コーディネーターの役割と実践

本校コーディネーターの役割

- 校内支援
 - ・個別の教育支援計画
 - ・校内のサポート(面談、生徒の情報収集)
 - ・校内のケース会議
 - ・研修企画→運営
 - ・WISCⅢ(生徒の実態把握)
- 地域支援
 - ・市教委との連携(巡回教育相談、就学相談)
 - ・通級指導との連携(県立高校)
 - ・地域への啓発活動

巡回教育相談

- 市内の小中学校へ巡回相談
 - ・対象児童生徒の資料が届けられ、事前に相談内容を把握する
 - ・当該校にて授業の様子を参観→相談
 - ・報告書をまとめ、市教委へ提出

- ・将来像を共有し、地域で育てる意識をもつ
- ・ネットワークの構築

通級指導との連携

- H30年度から高校の協力校として

昨年度の取り組み

- ・通級生に有効な支援方法の紹介と特別支援学校の見学
 - ・高校にて自閉症スペクトラムと発達障害についての研修
- 課題**
- ・通級の位置づけについて(学力保障ではなく自立活動)
 - ・通級生に対する指導の在り方についての理解

今年度の取り組み

- ・今年度から3名が在籍、「コグトレ」(認知トレーニング)の教材を活用
- ・放課後の時間にこれまで15回程度実施

今後の通級指導に向けて

- ・学力補充の分離(自立活動)
- ・選択科目の1つとしての位置づけ(来年度実施予定)
- ・教員間の連携と実態把握の充実
- ・通級生の卒業後の進路にも支援をつなげる
- ・保護者、本人への通級に対する啓発(対話の充実)



- ・校内の体制づくり、環境整備を段階的に進める
- ・本人のニーズを引き出す工夫

地域支援づくりへの提案

学校が地域のニーズを引き出す核となることが大切

- ・地域活動への参加を通して
- 学校の特性
子どもの実態
地域のねがい

人・学校・地域
共有と連携

地域に貢献したい、
地域で生きたい意欲を育てる